

社会科学習指導案

実 施 日 平成22年12月6日
実施クラス 3年3組
授 業 者 坂田 翔

1 指導単元 第5章 地球社会とわたしたち 1項 国際問題と地球市民 3 地球環境を考える

2 単元設定の理由

グローバル社会が進む今日において、資源・エネルギー問題や地球環境問題など地球規模で起こっているさまざまな問題は、国際協力をしながら解決していくべきである。そのためには、私たち一人ひとりが地球市民としての自覚を持ち、一人一人が地球規模の問題に関して、内容を知り、課題解決の方法を考え、行動していかなければならない。

そこで、本単元では、地球市民としての自覚を持たせ、今起こっている地球規模の課題を理解させ、その課題に対して、日常生活からできる取り組みを考えさせ、行動させていく事が重要であるとする。本単元を通して、知る→考える→行動する という意識をもたせたいと考え、設定した。

3 単元の指導目標（学習指導要領(現行) (3)ーウ

- (1)資源・エネルギー問題や地球環境問題などについての関心を持つ。
- (2)資源・エネルギーの開発・利用を進めていくことについて、さまざまな視点から考察できる。
- (3)資源・エネルギー問題や地球環境問題などについて、日常生活の中で取り組めることがらについて、意見発表や話し合いなどを通して考えさせる。

4 単元の指導計画（6時間扱い）

- 1時間 地球市民をめざして
- 2時間 21世紀の資源・エネルギー問題
- 3時間 地球環境を考える(本時)
- 4時間 市民が支える環境問題
- 5時間 人口・食料問題
- 6時間 世界の子どもの問題

5 単元の評価

- (1) B評価：積極的に課題解決への方法を、話し合うことができる。
 - ・資料から、地球規模のさまざまな環境問題が相互にかかわっている事がわかる。
- (2) 支援を必要とする生徒（C評価）への手だて
 - ・机間指導を行い、資料の見方、考え方をヒントとして出す。

6 授業改善のポイント

- (1) 研究主題との関わり
 - ・さまざまな写真や資料を通して、社会的事象に対する興味・関心を高め、その中で多面的・多角的な視点を身につけさせる。その繰り返しの中で知識を定着させていく。
- (2) 授業評価の結果分析をふまえての改善のポイント
 - ・発言や質問の項目の数値が低いというデータから、授業内で発言させる場面を多く取り入れた。また資料を厳選するなどして、わかりやすい資料を提示するよう心がけた。
- (3) 学力調査の結果分析をふまえての改善のポイント
 - ・資料活用の技能・表現の力が他の観点と比べ、低いため、積極的にプリントに資料を載せ、また資料を読み取る時間を長めに設定した。
- (4) 「言語活動の充実」の観点から
 - ・課題を設定し、班で話し合わせ、一人一人が発表できる場面を多く設定した。
 - ・資料からわかる課題を、プリントに説明文を書かせる場面を増やした。

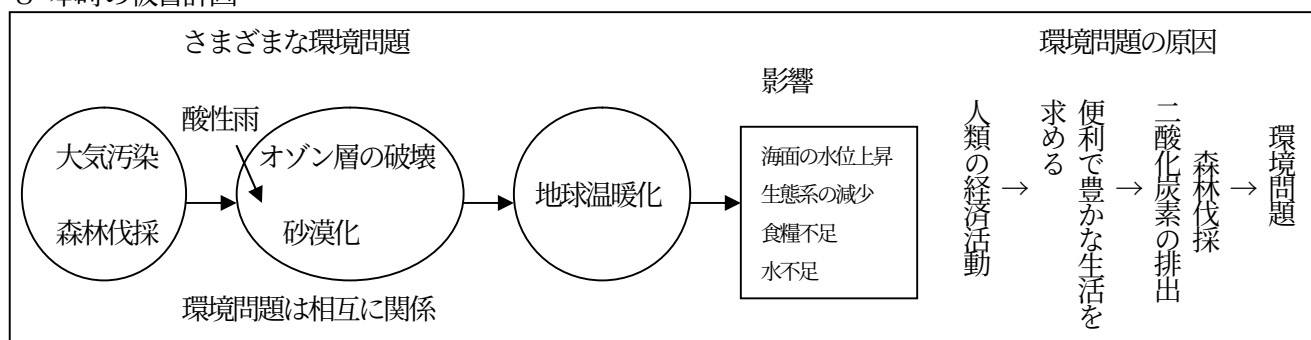
7 本時の授業

- (1) 本時のねらい
 - ・地球規模の環境問題について理解する。
 - ・地球温暖化が環境問題の象徴といわれる理由を資料から説明できる。
 - ・私たちができる、環境対策について考える。

(2) 本時の展開

	学習内容	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	- なぜ温帯地域である埼玉県でバナナが実ったのか考察する。 - 本時のテーマの確認	- プリント配布 - 本時で、地球環境問題について考えさせる。	- 埼玉県 - 地球温暖化 - テーマを確認する。	プリントに積極的に取り組んでいるか。(意欲)
展開 35分	- 現在起こっている、地球規模の様々な環境問題について知る。 - 地球温暖化がなぜ環境問題の象徴と呼ばれるのか考察する。 - 地球温暖化の影響を資料から考察する。 - 様々な地球環境の原因は人類にあることを理解する。 - 地球市民として、環境問題を防ぐために、どのような事ができるか考察し、班で話し合う。 - 各班で発表する	- 写真や資料から、地球規模の環境問題の現状を理解させる。 - 写真や資料から地球温暖化は、さまざまな環境問題と相互関係をもつことを理解させる。 - 資料Fから、地球温暖化の影響を考察させる - 資料A～Dのさまざまな環境問題の原因の根源はなんですか。 - プリント配布 - 自分の意見を考えさせ、その後、班の体型にさせ、班で自分たちができる取り組みについて考察させる。 - 発表させ、他の班の意見を聞かせる。	- 資料A～Dから、地球規模の環境問題を考える。(プリント記入) - 資料A～Eを読み取り、地球温暖化が環境問題の象徴と言われる理由を説明する。(プリント記入) - 資料Fから、地球温暖化の影響を記入する。 - 人類によるもの - わからない - 私たちにできること環境対策について考える。 - 班で話し合い、他の意見を聞く。 - 他の班の意見を聞く。	- 資料から、地球規模の環境問題がわかったか。(思考・判断) - 資料から、地球温暖化の環境問題の象徴と言われる理由が説明できたか。(技能・表現) - 資料から、地球温暖化の影響がわかったか。(技能・表現) - 環境問題の原因を理解することができたか。(知識・理解) - 主体的に考えようとしているか(意欲) - 主体的に話し合っているか(意欲) - 他の班の発表をしっかりと聞いているか(意欲)
まとめ 10分	国際的な環境問題への取り組みを理解する。	- 国際的な取り組みを行っていくために、一人一人の行動が大切だと理解させる。 - 自己評価をつけさせる	- 国際的な取り組みを行っていくために、一人一人の行動が大切だと理解する。 - 自己評価記入。	- これまで行われている国際的な活動について理解できたか。(知識・理解) - 知る・考える・行動することを強調する。

8 本時の板書計画



9 授業を終えて

生徒たちは、とても落ち着いた雰囲気できたように感じる。しかし、本時では50分という時間の中で行う内容としては多いので、テンポが速くてついてこれない生徒もいた。考えたりまとめたりする時間にももう少しゆとりを持たせたい。

本時のねらいは、環境問題について考えることである。意見交換ではさまざまな意見を言い合う姿が見られた。しかし、地球市民としての自覚を持つという点においてはやや不十分であり、他人事のような意見も見られた。環境問題を本気になって考える姿勢を持たせることが重要であると感じた。